

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2026年 5 月12日

【会社名】 株式会社ヴィア・ホールディングス

【英訳名】 VIA Holdings, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 楠元 健一郎

【本店の所在の場所】 東京都新宿区早稲田鶴巻町519

【電話番号】 03-5155-6801（代表）

【事務連絡者氏名】 常務執行役員 経営推進本部長 羽根 英臣

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区早稲田鶴巻町519

【電話番号】 03-5155-6801（代表）

【事務連絡者氏名】 常務執行役員 経営推進本部長 羽根 英臣

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1．財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象

(1) 当該事象の発生日

2026年5月12日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

当社の連結子会社である株式会社扇屋東日本、株式会社一丁、株式会社一源、株式会社紅とんの財政状態を勘案し、貸付金に対する関係会社貸倒引当金繰入額を特別損失として計上いたしました。

また、当社は、連結子会社である株式会社フードリームの株式の実質価額が著しく低下したために減損処理を行い、関係会社株式評価損として計上いたしました。なお、これらの特別損失は、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(3) 当該事実が当社の事業に及ぼす影響

（特別損失）

関係会社貸倒引当金繰入額	358百万円
関係会社株式評価損	509百万円

2．連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象

(1) 当該事象の発生日

2026年5月12日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

2026年3月期第4四半期連結会計期間において、不採算であった6店舗について閉店を決定いたしました。加えて、将来キャッシュ・フローによる設備投資額の回収が困難と見込まれた店舗につき、固定資産の減損を実施したこと等により、特別損失を計上いたしました。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響

（特別損失）

減損損失	99百万円
店舗閉鎖損失引当金繰入額	8百万円

それらの結果、当連結会計年度において連結子会社の特別損失計上額は260百万円を計上いたしました。